

認知症対応型通所介護事業所 Second Place ハレノヒ

第4回 運営推進会議（令和4年11月）

司会進行 ハレノヒ生活相談員

友田 美奈

議事

- 1 構成員紹介
- 2 利用状況報告
- 3 活動報告
- 4 ヒヤリハット
- 5 アクシデント
- 6 研修報告
- 7 ハレノヒにおける新型コロナウイルス感染者発生状況について
- 8 その他
- 9 次回開催予定日
- 10 構成員より感想、助言
- 11 会議終了

1 運営推進会議構成員紹介

上岩野自治会長	様
民生委員	様
地域包括支援センター管理者	様
店舗オーナー	様
利用者家族代表	様
(株)EASE 代表取締役 Second Place ハレノヒ 管理者	井上 茜
Second Place ハレノヒ 生活相談員	友田 美奈
指定居宅介護支援事業所ハレノヒ 管理者	久川 洋介

2 利用状況

性別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男性	0	1	1	0	3	0	1
女性	0	0	7	3	4	2	1
計	0	1	8	3	7	2	2

曜日別利用状況

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
男性	4	3	5	3	4	2	2
女性	8	9	7	9	8	8	4
計	12	12	12	12	12	10	6

- ・利用者の傾向として男性 7 名女性 16 名と現在は女性の利用者が多い。年齢は 74～99 歳までの方が利用されている。
- ・介護度は要介護 1 の軽度の方が中心だが、開設当初に比べ重度の方の相談も増えてきている。
- ・定員 12 名のため現在数以上の受入ができず、定期利用追加希望者 5 名、利用待機者 1 名あり。

3 活動報告

別紙 ハレノヒ広報誌「A0IRO」あおいろ 写真ページ参照

- ・第 8 号 令和 4 年 9 月発行

集団/個別脳活性トレーニング、カゴ作り、製作活動、半高山見学、苗植え・畑作り、カボチャ収穫、蓮の花見学、瀧見学、調理トレーニング、じゃがいも収穫、古代の森見学、誕生日会、ゲーム、散歩（歩行訓練）、掃除・洗濯等生活動作リハビリ、体操、製作等

- ・第 9 号 令和 4 年 11 月発行

集団/個別脳活性トレーニング、カゴ作り、製作活動、苗植え・畑作り、焼き芋、誕生日会、野菜の収穫、調理トレーニング、彼岸花見学、熊本城見学、不動岩見学、河内阿蘇神社見学、バナナ園見学、ゲーム、散歩（歩行訓練）、掃除・洗濯等生活動作リハビリ、体操 等

4 ヒヤリハット R4.5.14～R4.11.3（抜粋して記入）

ヒヤリハット	対応
他者の食べ残しを向かい側の席の方が食べようとされる	パーティションの下、受け渡し口が少し開いておりそこから手を伸ばして皿を取ろうとされていたため口がないものを設置した
車いすの方がフットレストを畳まずに立ち上がられる	立ち上がる時はフットレストを畳む必要があることを生活リハビリの中で繰り返し説明する。

入浴後の洗濯物返却忘れ	帰宅時間前に荷物置き場に返却物が残っていないか確認をする
他者の連絡帳を別の利用者のバックに入れ他の職員が気づく	バックに入れる際は2名で確認しながら入れる
屋外は杖使用、室内は手引き歩行の方の杖を持たせずに帰りの送迎に出発しようとした	帰宅前に持ち帰っていただくものの確認を行う
到着時、他の方のトイレ誘導等おこなっている間に別の付き添いが必要な方がトイレに行こうとテーブルを伝って歩いておられた	見守りの漏れがないよう他の職員に声をかける
トイレ行かれたあと、自席に座ろうとして、椅子に足が引っ掛かり大きくふらつきあり	ふらつきあるため動きがある時は付き添いを行っている
普段は歩行安定しているが歩行時突然ふらつかれる	付き添いが必要な方ではないため突然のふらつきには対応困難。フロアー見守り職員で支えが可能な場合はすぐに対応。新たにふらつきがあることを確認した利用者については他の職員と情報共有する
他の方が同席の方のハンカチを自身の大腿部の下に敷きこんでおられた	収集癖のある方のテーブルには個人のものはおかないようにする
折りたたみカウンターが上げてありましたが、ロックが片方掛かっておらず 斜めに傾いていた	上げた後は左右のロックを確認する
リクライニングソファーに休まれる際、右横に椅子があり、介助しているときに「アイタ」と言われた 左第5指を挟まれた様子 内出血や赤み無し	リクライニングを操作するときは手や足の位置を再確認して操作する
入浴後、足拭きマット敷き忘れ歩行介助中の利用者が滑ってしまう	入浴開始前に必要物品を再度確認する
外出時、利用者がサングラスを車内で外されドリンクホルダーに置いたまま帰宅	外出後の降車後も車内の確認を行う
帰りの送迎時、中履きのまま送ってしまい、外履きを後で届ける	帰りの挨拶を5分早め荷物の確認を行うこととした
連絡帳を配る際、話をしながら違う方の連絡帳を渡そうとした	渡す前には必ず名前を確認、読み上げて渡す
入浴の声掛けをし準備をするために一旦離れた際に立ち上がりふらつかれた。	準備を終えてから声掛けを行う
業者が持ってこられた刻み食をそのまま提供したところパイナップルがかなりの大きさで入っていた	器に移す時に確認をする
手を伸ばすと届く所に体温計とボールペン、クリップがあり取ろうとされていた 異食の可能性あり	異食の可能性のある方のテーブルには物を置かない 置く必要がある際は職員が必ず見守りをする
ソファーに座る際、付き添いの職員の方に倒れ込まれる	ふらつきある利用者のため移動時は付添行っている
近くに職員がいない状況で片手に杖、片足上げて一人で靴	危険な状況を早期に発見できるようフロア業務の

の踵を入れておられた	際は目の前だけでなく全体に目を配る
音もなく車椅子からの立ち上がりあり	
本人に渡さず別管理が必要な方の連絡帳を送迎の際に持たずに出発し取りに戻る	連絡帳記入後は車の鍵と一緒に保管する
車いす移動介助時、テーブルの脚に足があたりそうになる	周囲を確認し介助を行う事を再確認する
GPS をケースに戻したあとにカバーが半開きになっていた	カチッと音がするまでケースを閉める
お迎え時、自宅にて外袋のまま飴を口にくわえておられた。	家族には手の届くところに置かない、若しくは外袋を外しておいておかれるよう声掛けする
ミキサー食の方が向かい側の利用者から副菜をもらい食べようとされる	パーティションの受け渡し口をふさいでいたが、パーティションの間からもらわれた様子 本人へ繰り返し説明と見守りを行う

・上記以外に 132 のヒヤリハット記録あり

5 アクシデント

アクシデント	改善策
帰宅前、玄関まで移動しようと急いで立ち上がり椅子の脚に躓き転倒される	以前にも同じように転倒されているため、移動の際には急がれないよう声掛け続け、本人も意識しておられる。しかし、とっさの時は動きが早い。普段の動きを再確認し動きの多いトイレ⇄自席、自席⇄玄関など、立ち上がっても大きく方向転換が必要ない場所に席を配置した
ムース食の方に極小刻み食の方の主菜、副菜を提供。主菜を一口摂取されてしまう	準備の際、通常食ではない方のお膳は離して置き、一つ一つ声を出しながら準備する。配膳の際も名前、食形態を再確認し提供する
送迎時、車から手をつなぎ歩行付添をしていたが玄関前にある石畳に躓き転倒	躓かれた時は支えられるよう屋外では腕を組み歩行介助を行う
口腔ケアへ誘導し本人が歯磨きをされている際に職員が一旦離れ戻ると洗面台に置いてあったペットボトル入りの食器用洗剤のキャップを外し口に入れようとしていた	目につかない場所に洗剤の保管場所を変更した
一口大刻み食提供の利用者、昼食時強い咽込みあり（本人はマカロニで咽たと弁だがこんにやくも出ていた）顔を紅潮させタッピングでも収まらず SPO ₂ 数値改善まで時間を要す（86%まで低下）	マカロニ、こんにやくは提供中止 食事前の姿勢、ゴロ音の有無確認。口に運ぶペースが速いためゆっくりと食べられるよう声掛けをする
入浴後、靴下履き介助中「いたっ」と言われた。右下肢の傷もあったため右下肢の痛みと思ったが履かせた靴下のつま先が合わず引き上げたが違和感あり。確認すると爪の剥離あり（以前より白癬にて殆ど剥がれていた状態だった）	靴下を十分に手繰り寄せつま先を確認しながら介助を行う

6 施設内研修

令和4年 6月 感染・食中毒防止
7月 送迎時の注意事項
8月 職業倫理
9月 災害時対策
10月 リスクマネジメント

7 ハレノヒにおける新型コロナウイルス感染者発生状況について

	陽性 確定日	区分	最終出勤・ 利用日	濃厚 接触者	感染経路	療養方法	療養後の状況
①	5/25	職員	5/21	無	家族	自宅療養	6/7～勤務再開
②	7/21	利用者	7/17	無	家族	入院	利用再開できず中止
③	8/3	利用者	7/29	無	家族	入院	8/26～利用再開
④	11/13	職員	11/12	無	家族	ホテル療養	11/21～勤務再開

※④に関しては最終出勤日が前日だったため14日はデイサービス休業

12日、13日の利用者、関係職員に対し検査を実施（全員陰性）

翌15日より営業再開し、12日に陽性者と接触のあった利用者の追加検査を実施（全員陰性）

15日～18日までは全職員、出勤前に検査を実施（全員陰性）

8 その他

- ・メドマー（下肢エアーマッサージ器）導入
- ・10/15 敷地内にプレハブ設置 居宅介護支援事業所事務室・職員ロッカールームとして使用

9 次回開催予定日

日付：令和5年5月19日（第3金曜日）

※新型コロナウイルスの状況を考慮しリスクレベル低下の際は招集しての会議開催を予定していましたが、現在、夕食の提供、利用時間延長の方の利用者対応を行っているため今後も書面上での会議開催にてご了承いただけると幸いです。ご質問等ある際はいつでもご連絡下さい。

引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

・利用者の事を考えた活動内容・ヒヤリハット・アクシデントへの対応より事業所として十分に注意を払い充実した活動を実施されている事が推察できました。

・運営推進会議資料ありがとうございます。

送迎関係のヒヤリハットが上がっているようです。送迎に関して、今年は子供さんの痛ましい事故が多くありました。一人で確認作業をせず、また、マニュアルに頼り過ぎないような臨機応変の対応が必要とも思います。事故がないよう願います。

一時期、おさまっていた新型コロナウイルス感染症が再び感染拡大の情報が届いています。通所連絡会の LINE グループでも感染の報告が上がっているようです。また、2類から5類へ変更の話も上がっていますが、今後も感染対策を宜しく願います。介護仕事は大変と思いますが今後とも宜しくお願い致します。

・日頃から利用者・家族への細かな対応と、ご報告など大変助かっています。

ご利用者が増えヒヤリハットや事故も多くなるなかで職員の負担もあるかと思いますが、常に利用者を中心とした対応には利用者のみならずご家族も喜ばれていると思います。私達の立場からは新規の相談が難しくなっている現状は残念ですが今後も安心して過ごしてもらえる居場所としての取り組みを続けて頂けると助かります。

・利用者の方々の認知症の具合が違うので皆に目を配る事は大変なことだと思います。朝食時に薬を飲むよう促すも食後と書いてあるから食後に飲むと言い張り飲み忘れることが度々。

食後に歯磨きをするように声かけてもなかなかしません。ハレノヒで歯は磨いているようなので助かっています。身内が言うと嫌なんだと思います。仕事終わってから帰宅してからの調理はイライラしてしまう事も多いので気をつけないとは思いますが、親子なのでつきつく言ってしまう事もあります。スタッフの皆さんの取り組み対応のおかげでデイサービスにも行ってくれるのだと思います。ありがとうございます。

・認知症といっても症状も様々で知らない事も多く、説明もとても分かりやすいイラスト入りの説明は目を引きました。9月号のレビー小体型認知症の介護についてはイラスト説明があるのもっと良かったのではと思います。このページに問い合わせの番号相談先があると悩まれている方にとってはスムーズに相談先に連絡できる。写真はいつも素晴らしい。自然な笑顔、介護士さんが引き出しているのだと思います。

11月のアルツハイマー型認知症 高齢の方の病気ではなく、若い方でも症状が出ることもある事をもっと若い方にも知って頂きたいですね。AOIROが沢山の方の目にとまるよう努めていかないと思います。習慣生活病の治療時や診察時に見れるようにできるといいと思います。

・令和4年12月1日より熊本市の民生委員に委託されました。前任者より上岩野地区を引き継ぎました。まだまだ何にも分かりませんがハレノヒの事業がより良くなりますように応援したいと思いますのでよろしくお願いします。